

合格証票類管理方法等届

年 月 日

日本消防検定協会 殿

届出者

住所

氏名（法人の場合は、名称及び代表者氏名）

印

合格証票類取扱特例規程第 2 条に基づき、下記について合格証票類の証票特例を受けたいので、必要書類を添えて依頼します。

なお、証票特例を受けることとなった場合の合格証票類の管理・保管及び受払並びに合格証票類を付した製品の管理等については、添付書類のとおり
の管理体制で細心の注意と責任をもって行うこととします。万一不用意な管理
取扱いを行った場合は、異議なく貴協会の指示に従います。

記

受 検 場 所	
種別等	
証票特例の方式	方式（A， B， C， D）
備 考	

備考 1 この用紙の大きさは、J I S A 4 とすること。

2 「種別等」欄には、証票特例に係るすべての種別等を記入すること。

3 「証票特例の方式」欄には、該当する方式を○で囲むこと。

誓約書

私は、以下の事項を厳守することを、ここにお誓い致します。

- 1 合格証票類取扱特例規程を遵守し、信義に反する行為をしないこと。
- 2 合格証票類を銘板又は製品へ印刷するために使用する機器については、使用方法、管理方法等を定め、当該方法を遵守すること。
- 3 合格証票類を銘板又は製品へ印刷するために使用する機器に調整、整備等を行う場合又は故障が生じた場合は直ちに日本消防検定協会（以下「協会」という。）に連絡し、協会の指示に従うこと。
- 4 合格証票類の原版は、定めた管理方法により適正に管理すると共に無用な使用をしないこと。
- 5 次の場合には、直ちに合格証票類の原版を協会に返却すること。この場合において、印版の保管がある場合は、検定協会の職員の立会いのもとで消去又は当該印版を協会へ提出するものとする。
 - (1) 型式適合検定又は型式適合評価の業務を行わなくなった場合
 - (2) 合格証票類の原版を使用しなくなった場合（印版がある場合は、印版を使用しなくなった場合を含む。）

年 月 日
日本消防検定協会 殿

申請者又は依頼者
住 所
氏 名（法人の場合は、名称及び代表者氏名）
印
電話番号

年 月 日

日本消防検定協会 殿

氏名（法人の場合は、名称及び受領者氏名）

印

（検定・受託評価）合格証票受領書

下記のとおり合格証票を受領いたしました。

記

種 類	数 量	記 号	型式適合検定申請書等の 受付番号
合計			

備考1 この用紙の大きさは、J I S A 4 とすること。

2 「種類」欄には、合格証票の枚葉式又はロール式の別及び証票のサイズを記入すること。

3 型式適合検定申請書等の欄には、受付日及び受付番号を記入すること。

4 検定又は受託評価に分けて受領書を作成し、該当するものを○で囲むこと。

合格証票原版貸出依頼書

年 月 日

日本消防検定協会 殿

申請者又は依頼者

住 所
氏 名
電話番号

〔法人にあつては、その
名称及び代表者氏名〕印

合格証票類取扱特例規程第4条の2に基づき、合格証票類の原版の貸し出しを依頼します。

なお、当該原版の取り扱いは、細心の注意と責任をもって行います。

記

- 1 種 別
- 2 対象型式番号
- 3 統括取扱責任者 氏 名
連絡先

合格証票原版受領書

年 月 日

日本消防検定協会 殿

申請者又は依頼者

住 所
氏 名
電話番号

〔 法人にあつては、その
名称及び代表者氏名 〕 印

年 月 日に依頼した合格証票類の原版については、下記のとおり受領しました。

記

1 受領年月日 年 月 日

2 受領種類 (種 別) 用

合格証票類取扱特例取りやめ届

年 月 日

日本消防検定協会 殿

申請者又は依頼者

住 所
氏 名
電話番号

〔法人にあつては、その
名称及び代表者氏名〕 印

下記について合格証票の取扱いに係る特例の適用を取りやめたいので届け出ます。

記

受 検 場 所	
種別等	
証票特例の方式	方式（A， B， C， D）
備 考	

備考1 この用紙の大きさは、J I S A 4 とすること。

2 「種別等」欄には、証票特例に係るすべての種別等を記入すること。

3 「証票特例の方式」欄には、該当する方式を○で囲むこと。

合格証票類管理方法変更届

年 月 日

日本消防検定協会 殿

届出者

住所

氏名（法人の場合は、名称及び代表者氏名）

印

合格証票類取扱特例規程第7条に基づき、下記について合格証票類の管理方法等を一部変更したいので、必要書類を添えて届け出ます。

記

受 検 場 所	
種別等	
証票特例の方式	方式（A， B， C， D）
変 更 内 容	
備 考	

備考1 この用紙の大きさは、J I S A 4 とすること。

2 「種別等」欄には、証票特例に係るすべての種別等を記入すること。

3 「証票特例の方式」欄には、該当する方式を○で囲むこと。

年 月 日

日本消防検定協会 殿

住所
受領事務受託者名
(法人の場合は、名称及び代表者氏名)
印

(検定・受託評価) 合格証票特例申請書

合格証票類取扱特例規程第8条第3項に基づき、合格証票特例を下記のとおり申請します。

記

年 月 日現在

種 類	種 別 受検場所	申 請 数 量	保 有 数 量
(例) 枚葉式 (15×15)	(例) 感知器 (株)〇〇、△△工場	(例) 1,000枚 (〇年〇分)	(例) 100枚
	合 計	(例) 1,000枚	

- 備考1 この用紙の大きさは、J I S A 4とすること。
- 2 「種類」欄には、合格証票の枚葉式又はロール式の別及び証票のサイズを記入すること。
- 3 「申請数量」欄には、証票特例に該当する年間予定表の年月を記入すること。
- 4 検定又は受託評価に分けて申請書を作成し、該当するものを○で囲むこと。

年 月 日

日本消防検定協会 殿

住所
受領事務受託者名
(法人の場合は、名称及び代表者氏名) 印

証票特例受領事務の受託について

（種別等を記載）型式適合検定等の申請又は依頼手続き及び型式適合検定等の合格証票の証票特例について、別添のとおり（特例適用者名を記載）から委託されましたので、（受領事務受託者名）が一括受領し、（特例適用者名を記載）に（受領事務受託者名）から交付できるようお願いします。

なお、証票特例受領事務を受託することとなった場合の合格証票の管理・保管及び受払の管理等については、添付書類のとおり管理体制で細心の注意と責任をもって行うこととします。万一不用意な管理取扱いを行った場合は、異議なく貴協会の指示に従います。

例示 1 (第 2 条関係)

(合格証票類取扱部署名) 平成○年 合格証管理台帳 [種類別(○○)]											No. ○				
月日	受入	受入数	記号	摘要	払出	払出数	記号	摘要	証票保管数	受領証	確認印	備考			
(繰越)		500							500						
4. 6	検定協会	1,000	H	○○	-	-	-	-	1,500	-	印	←受入者の確認印又は署名			
4. 10					(製造部)	800	H	○○	700	○○	印	←払出者の確認印又は署名			
				↑摘要欄には、受入根拠が特定できる事項を記入すること(例型式適合検定申請書等の受付日及び受付番号)。				↑摘要欄には、払出根拠が特定できる事項を記入すること(例貼付した製品の型式番号及び製造番号等)。		↑受領証欄には、受領した証拠を特定できる事項を記入すること(例受領証番号等)。					
	小計	1,500	H		小計	800		小計	700		印	←責任者の確認印			

備考 電子化している場合には、確認印に代えて確認者名を入力し、印刷後に各ページの最下段で責任者の確認印を押すこと。

例示 3 (第 6 条関係)

(受領事務委託者名) 平成○年 合格証管理台帳 [種類別 (○○)]											No. ○				
月日	受入	受入数	記号	摘要	払出	払出数	記号	摘要	証票保管数	受領証	確認印	備考			
(繰越)		700							700						
5.20	検定協会	4,000	T	○○	-	-	-	-	4,700	-	印	←受入者の確認印又は署名			
5.23					○○	3600	T	○○	1,100	○○	印	←払出者の確認印又は署名			
				↑摘要欄には、受入根拠が特定できる事項を記入すること(例年間予定表の該当する月)。				↑摘要欄には、払出根拠が特定できる事項を記入すること(例型式適合検定申請書等の受付日及び受付番号)。		↑受領証欄には、受領した証拠を特定できる事項を記入すること(例受領証番号等)。					
	小計	4,700	T		小計	3,600		小計	1,100		印	←責任者の確認印			

備考 電子化している場合には、確認印に代えて確認者名を記録し、各ページの最下段で責任者の確認印を押すこと。